

○ 鉄道事業者: 南阿蘇鉄道(株)(第3セクター)

- 株主(沿線自治体保有率99.95%)
 - 南阿蘇村(56.5%)、高森町(33.9%)、山都町(7%)
 - 西原村(2.5%)、大津町(0.05%)、JA阿蘇(0.05%)
- 運輸開始日: 昭和61年4月1日
- 営業路線: 立野駅～高森駅間(17.7km)
- 輸送密度: 520人(H26年度)
- 「立野橋りょう」「第一白川橋りょう」は、土木学会により選奨土木遺産として平成27年度に認定されている。



○ 運行状況

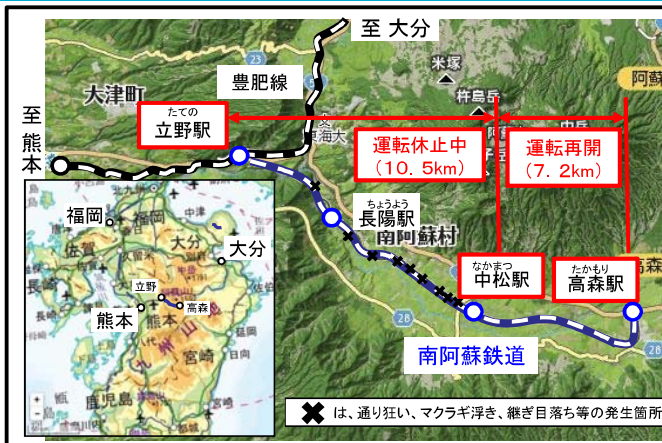
- 立野駅～中松駅間(10.5km)で運転休止中。
- 平成28年7月31日より中松駅～高森駅間(7.2km)運転再開。
- 本年3月31日までは熊本県による緊急通学バスを運行。
- 4月1日より九州産交バスによる運行を実施中。(肥後大津駅～高森駅間)

〔参考: 南阿蘇鉄道の主な経緯〕

- 昭和3年2月 鉄道省門司鉄道局宮地線として、営業開始
- 12月 熊本～大分間が全通し豊肥線に改称、併せて立野～高森間も高森線に改称
- 昭和56年9月 国鉄再建特別措置法により第一次特定地方交通線廃止対象線(※)に選定
 - ※輸送密度4,000人/日未満の特定地方交通線については、国鉄より分離、民営バスによる代替もしくは他の事業者への転換が進められた。
- 昭和56年12月 熊本県及び南阿蘇6町村により高森線対策連絡協議会設置
- 昭和59年11月 第6回連絡協議会で地元出資による会社設立を合意
- 昭和60年4月 南阿蘇鉄道株式会社設立
- 昭和61年4月 営業開始



南阿蘇鉄道の被害状況



○ 長陽駅～中松駅間(5.8km)

- 盛土変状: 2箇所
- 軌道変状: 10箇所
- 落石(斜面崩落): 1箇所
- その他軽微な変状: 5箇所
- 護岸崩壊: 1箇所
- 橋台側壁損傷: 1箇所
- 計: 20箇所



6k250m 軌道変状(陥没)



6k320m 落石(岩斜面崩落)

○ 立野駅～長陽駅間(4.7km)

- 橋りょう: 2箇所(立野橋りょう及び第1白川橋りょう)
- トンネル: 2箇所(犀角山トンネル及び戸下トンネル)
- 擁壁等損傷: 7箇所
- 斜面崩壊: 11箇所
- 計: 22箇所



土砂崩れ



立野橋りょう橋脚



移動



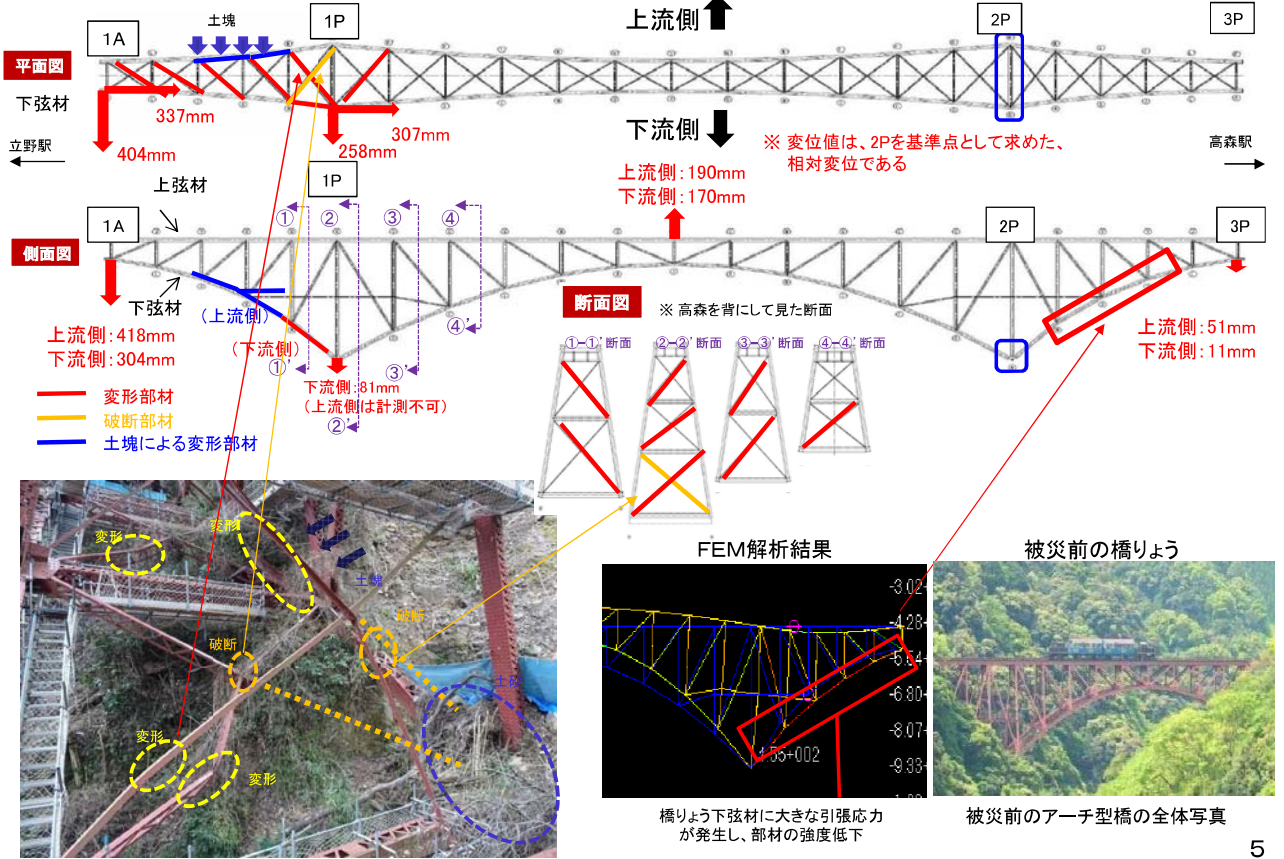
変形

変形

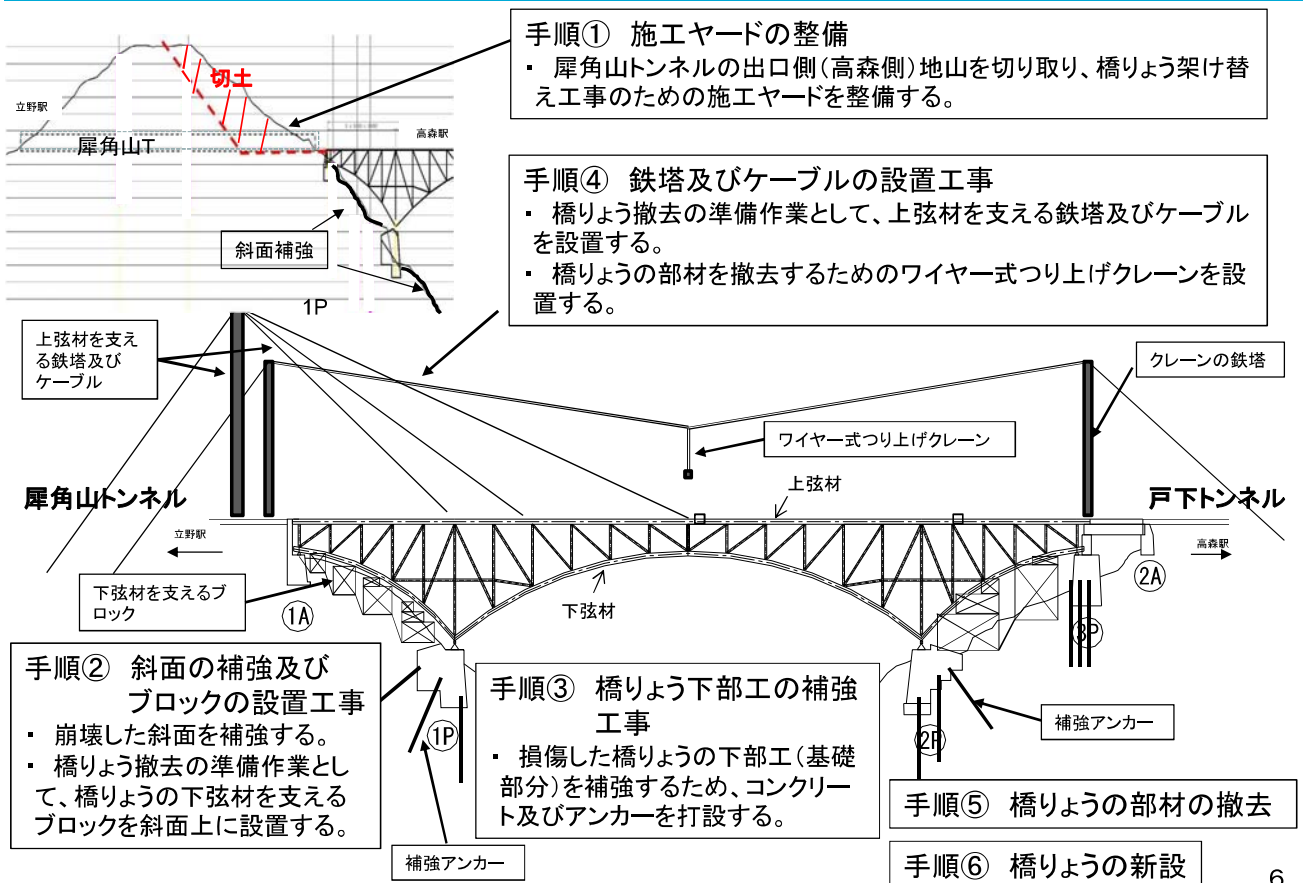
第一白川橋りょうの損傷状況

○ 橋台、橋脚及び橋りょう中央部の変位量

(第一白川橋りょう: 全長: 166m)



第一白川橋りょうの復旧方法



第一白川橋りょう 上部工補修計画図

S=1:400

<撤去計画概要図>

